

## 黒留袖に丸髷姿で厄払い



▲お祓いを済ませた後、鷹ノ巣駅まで商店街を行進し、あで姿を披露

### ●厄払い祈願

市内各地区の神社で2月1日、恒例の厄払い行事が行われ、この一年の厄年を無事に乗り切ることができるよう、宮司からお祓いを受け、神前に玉串を捧げ厄除けを祈願しました。

このうち、鷹巣神社で行なわれた33歳厄払い祈願式では、38人が出席し厄除けを祈願しました。

このあと、中心商店街のにぎわいづくりに一役買おうと、正装姿で鷹ノ巣駅前まで目抜き通りを行進し、買い物客などから注目を浴びていました。

また、米内沢神社では、33歳の女性、42歳、62歳の男性、88歳の米寿を迎えた46人が正装で参集。宮司のお祓いを受けながら1年間の厄除けと長寿を祈願しました。

## いつまでもお元気で



▲100歳をお祝いした長岐キヨさん

### ●長岐キヨさんの100歳を祝う

長岐キヨさんの100歳を祝おうと1月28日、通所しているデイサービスたいう(成田吉廣施設長)を畠山正・健康福祉部長が訪れ、寿詞と記念品を贈り長寿を祝いました。

贈呈式では、畠山部長が「100歳おめでとーございます。風邪などを引かないように、これからも元気で過ごしてください」などと祝福し、寿詞と記念品を贈りました。

また、成田施設長は「キヨさんを迎えに行く、私も元気になる。これからも、長生きしてくださいね」と優しく声を掛けて、花束を贈りました。

長岐さんは「皆さんに、お祝いされてうれしいです」と感想を述べていました。

## 最後のカルタ大会



▲同校では最後となったカルタ大会

### ●米内沢高校第46回全校カルタ大会

県立米内沢高等学校(佐々木潤子校長、生徒108人)の全校カルタ大会が1月21日、同校体育館で開かれ、生徒たちが伝統文化を楽しみました。

開会式で田中浩悦教頭は「今年は本校として最後の大会になりますが、秋田北鷹高校でも継続して実施することが決まっています。一番大切なのはチームの団結力。白熱した好ゲームを期待します」とあいさつ。

対戦は、5人がそれぞれ対面した2人で20枚の札を取り合い、勝敗を決めます。生徒たちは相手より早く取るうと耳を澄まし、目で札を追う真剣な表情。読み手が上の句を読むと、続く下の句の札に素早く反応して札を取り、1枚の札に一喜一憂していました。

## 手づくりの餅などに大勢の人出



▲手作り餅などを求めて賑わう、第17回もちっこ市

### ●第17回もちっこ市

第17回もちっこ市(市鷹巣物産協会主催)が2月12日、大太鼓の館駐車場内特設テントを会場に行われ、手作りの餅や特産品などを買い求める人々で賑わいました。

開会式で、村井松悦会長は「17回となり、あちこちで認知されるようになった。みんなで盛り上げ冬の風物詩として定着し、あめっこ市のようなメジャーになるう」などとあいさつ。

期間中は、餅まきや餅つき、大太鼓演奏などでイベントを盛り上げました。

会場内では、枝餅や干し餅、切餅、お焼き、大福餅といった手づくりの餅から白菜漬や肉の煮込みなどの地元特産品がズラリと並べられ、大勢の人たちで賑わいました。

## 地球のうらがわをめざせ!



▲5年生が贈られた地球儀を観賞

### ●大阿仁小学校に地球儀の贈り物

大阿仁小学校(高橋智校長、児童数35人)に2月2日、地球儀の贈り物が届けられ、児童たちが美しい地球儀を大事に観賞しています。

沖縄県の民芸品店から「大阿仁小学校に地球儀を贈りたい」というお客さんの依頼により、発送したとの連絡があり、同校に地球儀が届きました。寄贈された方は、匿名希望で氏名等もわかっていません。

贈られた地球儀には「地球のうらがわをめざせ!!」とメッセージが添えられていました。

子どもたちは「地球のうらがわってどこ」「日本の反対側のチリのことかな」などと話し合いながら、美しい地球儀を観賞していました。

## 豆まきで元気に鬼退治



▲袴姿で豆をまく子どもたち

### ●保育園で節分行事

2月3日は節分。市内の各保育園では恒例の豆まきが行われ、鬼退治をして災厄を払い、一年の無病息災を願う伝統行事を楽しみました。

このうち、阿仁合保育園(田口鐘子園長、園児20人)では、七五三を迎える4歳児の男子5人が、袴を身に付けてステーションから豆をまきました。子どもたちは競い合うように豆を拾い集め、先生たちに「たくさん拾ったよ」と笑顔で話していました。

このあと、青鬼と赤鬼が登場。子どもたちは暴れる鬼から逃げ回り、泣き出す子もいましたが、カラーボールをぶつけて反撃すると、鬼は外に出て行きました。鬼退治をした子どもたちは「やったー」と喜び合いました。